

# 法人本部

2020年度は聖隷福祉事業団創立90周年を迎える年であり、現中期事業計画の最終年度でもある。近年、大規模投資が集中したため、一層のBS、CFを意識した経営が求められるところであるが、この節目の年を将来に向けて新たなチャレンジする契機とし、充実した本部機能を発揮できるよう整備を進める。高齢者人口の増加と現役世代人口の減少により医療福祉の働き手の確保は極めて重大な継続的課題である。多様な人材の確保・育成に引き続き務めると共に、長時間労働の是正や医師等の専門職の働き方の検討を推進し、両立支援や健康管理などより働きやすい職場づくりに取り組む。働き方改革と同時にICTの導入や財務新システムの導入などに取り組み、事業団全体の生産性向上を目指していく。

地域公益的活動の推進など社会福祉法人に対する期待は高まっており、ガバナンスやコンプライアンスの強化、戦略的なICTの投資や広報展開など社会福祉法人としてより高い経営力が発揮できる体制整備に努めていく。

法人本部では次の項目を2020年度重点目標として掲げる。

1. 多様な人材確保・育成と柔軟な働き方への対応
2. 社会福祉法人の使命の追求と地域共生社会の実現
3. 先駆的な取り組みと最高のサービスの提供
4. 経営の安定化と将来を見据えた組織改革

各部署は、次の年度事業目標（重点施策）を策定する。

[総務部]

1. 育児・介護・病気に関する両立支援制度のニーズに即した拡充・改定
2. 働き方改革（長時間労働の是正・非正規職員の処遇検討・多様な働き方）の推進
3. 医師等専門職の働き方及び処遇の検討
4. 地域における公益的な取組等の適切かつ積極的な情報開示
5. 事業団全体の生産性向上への取組推進
6. ICT等の活用による業務の省力化の検討
7. 災害対応体制の整備
8. 健康管理業務体制整備の検討
9. 新しいガバナンス体制検討

[人事企画部]

1. 多様な人材・必要な人材を採用する
2. 離職防止に対する取組みや長く働くための制度構築を実施する
3. 多様な人材が活躍することができる人材育成体制を構築する
4. 外部研修事業の研修稼働率を前年比プラスとする

[財務部]

1. B S 経営、C F 経営の推進による事業団経営管理機能強化
2. 財務部門における生産性・効率性向上に向けた取り組み
3. 経理職員の育成
4. 災害対策への取り組み

[総合企画室]

1. 将来を見据えた事業計画・組織改革を実施する
2. 効果的な病院経営支援の実践と人材育成
3. 全国の社会福祉法人の模範となる広報活動の強化と推進する

[総合情報システム部]

1. 情報部門に必要とされる人材の育成と働き方の見直し
2. 地域共生社会の実現に寄与する事業部への支援と災害対策
3. I C T を活用した情報基盤の確立と先駆的な取り組み
4. 経営の安定化に寄与する環境整備と将来の情報部門の在り方検討

[監査室]

1. 内部監査の精度向上
2. 内部通報制度の充実
3. コンプライアンス経営に資する教育活動